

日本ブランド発信事業
米国南部ナッシュビル、アトランタでの日本酒セミナー

2015年 11月

「日本ブランド発信事業」専門家(日本酒)
株式会社辻本店 辻麻衣子

2015年11月4日から12日にかけて米国南部のナッシュビル、アトランタに滞在し、日本酒レクチャーを開催した。両地域共に、日本食はすでに浸透しているが日本酒はまだ浸透しておらず、まさに注目しはじめたところであり、訪れるには最良の時期であった。

まず Tennessee 州ナッシュビルは、2013年現在で66万人とのことだが、若者に人気の街となり、年々人口が増えているとのことだった。そのとおり、あちこちが再開発中で、マンションなどが建築されていた。禁酒法の歴史があり、アルコールに関する法律は厳しいようだが、近年緩和されつつあり、また若者の流入が多いということで、新しいアルコールへの興味は特別高いようだった。

最初に、現地の日本食レストランランキング 1位に選ばれた「Virago」にてセミナーを開催した。米国人シェフによるオシャレな和食とともにお酒を提供した。同じ系列店の飲食店関係者が多く参加しており、興味はあるが知識はまだという参加者が多かった。お酒の温度や合う料理など、どのようにサーブしたら良いか、との質問が多かった。

杵渕総領事主催の夕食会では、日系企業の関係者や、日米協会、現地商工会の方がお酒を楽しみ、いずれの方も、ナッシュビルはまさに発展の時にあり、日本酒を求めているとの話をいただいた。

翌日はメディア対象のセミナーでは少人数だったため、随時質問を受けることができ、より深く伝わったように思う。輸出の展望についてなどビジネスの質問が多かった。

夜は今回で最も大きな会場でのセミナーだった。一般を対象にしたセミナーのため、地元フリーペーパーに告知を出したところ約2日で120人が満席になるなどの人気だった。それほど日本酒の注目度は高かった。セミナー後はディストリビューター2社とも名刺交換でき、うち1社は取り扱いたいとのこと。今後取引を検討したい。また、マイクロブルワリーも流行していて、米国人の青年が日本酒の作り方を教えて欲しいとのことだった。後日来日したいとのこと。



Virago でのセミナー



一般対象のセミナー後は多数質問が出た。

いずれのセミナーでも、御前酒純米大吟醸鳳凰と Gozenshu9 ゆず酒が人気で、どこで買えるかとの問い合わせが多かった。すぐにでも売れそうな市場性を感じた。

また、当地はバーボンの産地とのことで、ナッシュビル市内の Corsair 蒸留所、テネシーウイスキーで有名な Jack Daniel's を見学した。両者とも規模の大小はあるが蔵見学が非常に盛んで一つの大きな収入源になっていると感じた。女性の蒸留士とも交流できた。

ジョージア州アトランタは米国南部の中心地で、在米日本人も 5000 人という大きな都市であった。やはりここでも和食は非常に人気があり、日本酒も入ってきてはいるが、まだまだ入る余地はあるとのこと。今回のセミナーをコーディネートしてくれた酒類流通業者サバナ社は取引に積極的であったので、1 年後をめどにアトランタへの輸出を検討したいとのこと。

アトランタでは、最初にクラフトビールの醸造所の 3 Tavern Brewery の見学をした。COO の Tim さんの案内で見学した。2 年前に参入したばかりだが、品質にこだわり、非常に成功している印象。今年の製造数量は、15000 リットルで、来年は 18000 リットルに増やす予定とのこと。当社と同じ天然の乳酸菌を使う昔ながらの製法で造ったお酒もあり、醸造の話で多いに盛り上がり、技術的な交流ができた。

夜は総領事公邸で地元メディア、地元流通業者や、酒ソムリエの資格を持つ方、飲食店関係者を招待してのセミナー。公邸料理人の日本食とのマリアージュを体験してもらった。大吟醸が人気だった。弊社の輸出やアメリカ進出に関してなどビジネス関係の質問が多かった。プレゼン後の雑談では、女性のワイン流通業者や料理人なども来ていて、女性ならではの苦労話で盛り上がり、お互いの健闘をたたえた。

翌日はケネソー州立大学の日本料理を学ぶ学生とコラボレーションした。当社のお酒4種類に合わせて学生が考えたメニューの料理と一緒に提供した。学生は非常に熱心で、日本酒の製造方法や提供方法、または女性で杜氏という仕事をしていることについての質問が数多く寄せられた。学生の中には、来年 JET プログラムに参加予定の生徒もあり、岡山県を希望したいとの声もあった。また、同大学の外国語学部日本語学科ネグレリ教授より、2018 年に学生の海外交流の一環で来日する予定があり、その際はぜひ蔵を訪問したいとの声もいただいた。



日本料理を学ぶ
ケネソー州立大学の学生たち

最終日はジョージア美術館で開催中のサムライ展にあわせてのセミナーだった。美術館の寄付者を対象にしたクローズな会にも関わらず、約 60 名の参加があった。公邸のシェフが現地で仕上げたお酒に合う和食と共にお酒を提供した。大吟醸とゆず酒が非常に人気で、どこで買えるか？との質問が多数あった。

ナッシュビル、アトランタ共に、日本食がブームの中まだ日本酒は浸透していない状況で、これから輸出をしていく市場性のある場所において PR できたことは大変有意義であった。

最後になりますが、今回の事業に際しお世話になりました外務省の方々、総領事館の方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

【参考リンク】

[外務省「日本ブランド発信事業」ウェブサイト](#)
[株式会社辻本店 ウェブサイト](#)